

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」
グローバル展開プログラム最終評価結果表

課題	日本企業のコーポレート・ガバナンスに関するグローバルな発信
研究テーマ名	日本の企業統治の比較実証分析：所有構造・戦略選択・パフォーマンス
研究代表者	宮島 英昭
所属機関・部局・職	早稲田大学・商学大学院 教授
研究成果の総合評点：B	
研究成果に係る所見	
<p>1997 年以降の日本企業の統治構造の変化を、資本構造の市場化、雇用制度における内部組織重視のハイブリッド型と位置づけ、これが日本企業パフォーマンスの低迷にどう影響したか、比較企業統治論的な視点からデータ構築と実証分析が試みられた。①企業統治構造の決定、②統治構造と組織・戦略決定、③企業パフォーマンスの分布と統治構造について、国内・国際会議が行われ、論文発表・論文刊行が行われたことを評価する。</p> <p>なお、日本企業の低パフォーマンスの主要因となっている特性は何であるかを見いだせていないとの指摘があった。</p>	

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記の通り。

- S. 研究目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 研究目的に照らして、期待どおりの成果があった
- B. 研究目的に照らして、十分ではなかったが一応の成果があった
- C. 研究目的に照らして、十分な成果があったとは言い難い。